家庭教育だより
はつらつ
2023年 3月発行　山口市教育委員会
社会教育課 TEL:（083）934 - 2865

社会教育課では、山口市の家庭教育を応援する取り組みを行っています。詳しくは家庭教育応援サイト『親も子も一歩ずつ』でご紹介しています。紙面と併せてご参考に！

家庭教育応援サイト

知っちょる？
参加しちょる？
子そだてマナビィ
子そだては自分そだて！

社会教育課では、家庭教育に役立つ講座「子そだてマナビィ」を年１０回程度開催しています。親子のコミュニケーションを行う上で大切な「話の聴き方」のポイントを、各講師のお話より抜粋してお伝えします。ご参考に♪

聴けていますか？子どもの話・きもち

子どもが悩みを口にしたとき、話を遮ったり、すぐにアドバイスを与えようとしていませんか。「こうしなさい」「こうした方がいい」と一方的に意見を言われたり、否定されてばかりだと、子どもは自分の本当の気持ちが分からなくなったり、自分で考える力がなくなってしまうかもしれません。→人に頼るばかり、自信がもてない、不安が強くなる･･･

上手な聴き方ポイント

◆身体を向けてうなずいて聴く
いったん手を止めスマホは置いて、目を見て！

◆同調して聴く
「うんうん」「そっか」

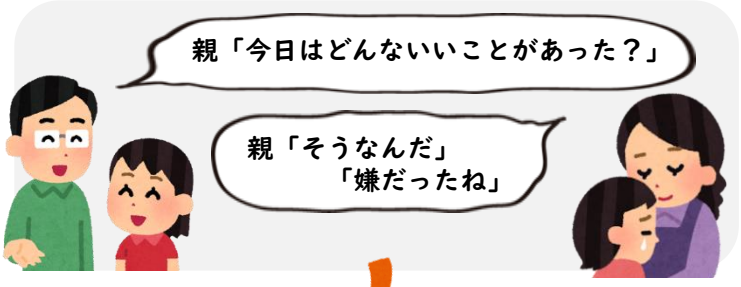
◆最後まで聴く
勝手な憶測をせず最後まで聴いて！

◆どうしても忙しい時
すぐ聞けないときは、「今は無理だけど、少し待ってね」と、見通しをたててあげよう！

◆子どもの気持ちを考えてみる
言葉の奥の、子どもの思いや本当の気持ちを思いやり、寄り添いましょう！

話しやすい
雰囲気づくり

≪良いことも悪い事もそのままを受け止める≫



子どものきもち
「わかってもらえた。」
「自分のことがわかってきた。」
「自分で考えるぞ。」
「自信がもてる気がする！」

UP！
安心感 ↗
自己肯定感 ↗
自主性の育ち ↗
親子の信頼関係 ↗

しっかり聴くことができたら、こちらからの情報を伝えながら、子ども自身の意思や判断を引き出してあげましょう！

親「あなたはどうしたい？」
「どうしてそう思うのかな」

子育て中のあなたのお悩みを
家庭教育アドバイザーがお聞きします。
個別相談ダイヤルはこちら　083-928-3232

≪気がついた時が始まりです。さあ、一緒に！≫

令和４年度家庭教育講座　実施報告

９月から２月の間に開催した家庭教育講座「子そだてマナビィ」を報告します。

第5回　わが子に伝えたい生と性のお話

日　時：令和４年９月２２日（木）13：30～15：30
場　所：佐山地域交流センター
講　師：金子　法子　氏（針間産婦人科院長）
受講生：大人１８人

医療現場から見える現代の若者の性の問題、思春期の具体的な身体の悩みや性的な成熟や、命のしくみについて子どもへ伝える時のコツ、また、性の多様性についてなどをわかりやすく教えていただきました。性についての学びは「生きていく力をつけること」そのものであり、家庭における性教育の重要性を学びました。

すべての命が望まれて生まれてくるために…

★予期せぬ妊娠を防ぐ
★自分も相手も心身ともに大切にすること
…正しい避妊方法を親が理解し家庭で伝えましょう。また男女の身体の仕組みについて、親子で正しい知識を共有し、自分も相手も心身ともに大切にできるようになって欲しいと思っています。

インターネットやSNSでの情報や交流にも注意が必要。日頃から子どもが「何をみて」「何を感じて」「何を思って」いるのかを意識して欲しいです。

ポイント

照れることなく気軽に堂々と親子で性について話してみよう！

第6回　読書へのいざない

～本好きな子どもに育てるために～

日　時：令和４年１０月８日（土）10：00～12：00
場　所：嘉川地域交流センター
講　師：森重　厚子　氏（学校司書）
受講生：大人１３人

子どもたちの読書に関する意識等の実態調査や、読書が育むものについて、また家庭で読書を楽しむためのポイント等を学びました。

おすすめの絵本などから、読み聞かせを交えてお話いただきました。

ポイント

家庭で子どもと読書を楽しむために
◆家に本を置く
◆一緒に図書館に行く
◆学校の「読書週刊」の機会を上手に利用しよう
◆家族で読み聞かせ
◆まず大人が読書好きに

「いざない」とは、一緒に行動するようにすすめること。本を楽しむ時間を親子で共有され、家族の大切な思い出になりますように。

おすすめ！ から一冊ご紹介

「でんでんむしのかなしみ」
作　／　新美南吉
絵　／　かみやしん
大日本図書

※各回のアーカイブは、市ウェブサイトからご覧いただけます。
ダウンロードもご自由にしていただけます。ぜひご覧ください。

子そだてマナビィ
令和４年度講座報告

第7回　親子で森遊び

日　時：令和４年１０月２３日（日）9：30～12：00
場　所：国立山口徳地少年自然の家
講　師：森の案内人（森林セラピー山口）
受講生：親子１５組（大人２１人　子ども２１人）

探してみよう！
見つけてみよう！
森の宝物

森の案内人の皆さんのナビゲートにより、親子で森を探検、自然を満喫する遊びを体験しました。自然の美しさ、営みにふれ、親子の絆を深めました。

どんぐりゴマづくり

森の遊びあれこれ

1　五感を刺激する自然遊び
2　森の紙芝居
3　森のごちそう探し
4　自然観察・森の生き物観察
などなど

どんな色？
どんなにおい？
どんな味？
この味好き？
きらい？

第8回　個性豊かな子と向き合うために

日　時：令和４年１１月２４日（木）10：00～12：00
場　所：小郡地域交流センター
講　師：小川　昭　氏（公認心理師・臨床心理士）
受講生：大人３５人

親として、子どもに関心・関わりをもって接していますか？

アドラー心理学の考えも踏まえて、不登校やゲーム・スマホ等がやめられない子どもへの保護者の関わり方について、多くの事例をもとに学びました。

ポイント

親が“困った子”と思っているとき

・子どもは“困っている子”になっていることが多い
・子どもの困り感を理解するためには、子どもの状況を知ること
　➡子どもに聴いたり、関わったり、観察したり、情報を集めること
・子どもの立場で一緒に考えてみる

子どもの課題と親の課題を分離して、「課題解決をするのは誰か」を考えてみましょう。
また、「子どもの欲求の先取りをしない」「子どもが求めるまで待つ」など、適度な関わりを目指しましょう。

子そだては自分そだて
子そだてマナビィ

ウエブサイトで詳しく見てね！

子そだてマナビィ
令和４年度講座報告

第9回 スローフードから学ぶ食育講座

～生きていくために必要なものは自然の中に用意されている～

日　時：令和４年１２月２日（金）10：00～12：00
場　所：大内地域交流センター
講　師：白木　美和　氏（すろーふーどらいふままや代表）
受講生：大人２６人

味噌作り体験や講話から、環境に配慮した生活や豊かな食の在り方、自然の恵みに感謝する心、また、子育てや備蓄食について等、広く深く学びました。

「常温保存できる【米、味噌、塩、（梅干し）水】を常備しておくと、何か起きた時に家族を守れます。これは防災にもつながります。」

ポイント

「生きていくために必要なものは、自然の中にちゃんと用意されています。次の世代へ美しい自然や真の豊かさを伝えることができるよう、体験を通して子どもたちに教えてあげましょう。」

第10回 自分を好きな子に育てる

～さあ、何から始めますか？～

日　時：令和５年１月２５日（水）10：00～12：00
場　所：平川地域交流センター
講　師：杉山　美羽　氏（NPO法人あっと理事）
受講生：大人１４人

子どもたちの自尊感情を高め、自分も相手もお互いに大切にし合える社会を創っていくために親ができることを、多くの統計資料や講師のご経験談から学びました。雪の積もる寒い中、講師の声の温かさにほっとするひとときでした。

「こども食堂」は子どもでもボランティア参加しやすいですよ。
親子でのご参加もお待ちしています！

ポイント

子どもが自分を好きになる！ために
■外遊び（様々な体験活動）：自由度が高く、自主性をもちやすい
■子どもの意見を尊重しよう：子どもの話をしっかり聴く
■親がご機嫌でいよう：子どもが安心できる

「あなたの子育ての目標は？」
グループトークで盛り上がりました！

「すごい自分」「良くできる自分」じゃなくてもいいのです。
多くの人の力を借りることができる、「頼る力」、「頼む力」をもつあなたでいてほしい。子どもたちにも伝えてくださいね。

令和５年度もお楽しみに！

子そだてマナビィ　検索

お問合せ：山口市教育委員会 社会教育課（☎083－934－2865）